

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改憲阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007  
FAX03-3261-5453

2024年3月14日(木)

NO. 1459号

本号3頁

## 裏金で汚れた手で憲法に触れるな!

岸田首相は、総裁任期（2024年9月）までに改憲を実施すると発言し続けています。しかし、自民党2024年党大会の方針では、「本年に憲法改正実現」と迷走しています。

昨年12月7日の衆院憲法審査会では、自民党の中谷元与党筆頭幹事は「（議員任期延長改憲について）そろそろ次のステージに入っていく必要がある」「来年の常会に、議員任期延長や解散禁止などを含めた緊急事態における国会機能の維持の憲法改正について、具体的な条文の起草作業のための機関を設け、条文起草作業のステージに入るということを提案いたします」と発言しました。

しかし、改憲5会派の衆院憲法審査会幹事の会合が2月7日、国会内で開かれましたが、自民が示した見解は、予算案が衆院を通過するまでは（実質的審議を行う）憲法審は開かないということでした。最近の通常国会では予算審議と憲法審との並行開催を、否定的な立民・共産を改憲勢力が押し切る場面もありましたが、裏金問題で激しい国民の批判の中で、予算審議を優先させざるを得ない事態に追い込まれました。

また、複数の出席者によると、自民関係者からは「この国会での憲法改正の発議は難しい。せいぜい改憲原案の提出までだ」との言及があったとのこと。

しかし、改憲派が衆参両院で3分の2を占める下で、いつ改憲に踏み出すか、分かりません。今国会での改憲原案作成や改憲発議をさせないために、9条改憲とともに緊急事態条項の創設・議員任期延長改憲について、その内容と危険性を徹底的に国民に広げに広げることが急務です。憲法会議発行の「憲法リーフレット」を全国に広げに広げましょう。

## 改憲勢力の狙いは9条改憲です。

この間、集団的自衛権行使容認と敵基地攻撃能力保有という憲法9条を蹂躪する二つの暴挙が行われてきました。しかし、憲法9条は、なお平和を守る大きな力を発揮しています。政府は、現在でも、集団的自衛権行使の条件について、日本の存立が根底から脅かされた事態（「存立危機事態」）に限られるとし、「フルスペックの（全面的な）集団的自衛権の行使はできない」ことを建前としています。「海外派兵—武力行使の目的をもって武装した部隊を他国の領土、領海、領空に派遣することはできない」ことも建前としています。

9条改憲は、対米従属のもとでの「戦争国家づくり」にとってのあらゆる制約を取り払うことにその目的が置かれています。それは、海外での集団的自衛権の全面的行使、海外派兵の全面的な自由化を可能とするものです。

## 憲法会議は改憲阻止に向けて、皆さんとともにたたかいます

憲法会議は、「憲法学習」運動を活動の中心に据え、共同・共闘を広げ、改憲阻止するためにたたかいます。

第213回通常国会の会期は6月23日までであり、この3ヶ月間がまさに正念場のたたかいとなります。政府が優先すべきは裏金問題を明らかにし、企業団体献金の禁止、政治資金パーティーを中止すること、そして金権・腐敗政治を正すことであり、憲法改正など国民は望んでいないという国民世論を背景に、次のことにとりくみます。

1) 国民の改憲反対の世論をさらに広げ、大きな力にすること。2) 全国各地で市民の共同、市民と野党の共闘で「9条改憲反対」の運動を広げ、国会でたたかう野党共闘を草の根から支えていくこと。3) 引き続き「憲法改悪を許さない全国署名」をもって対話運動に全力でとりくみ、岸田改憲反対の世論を広げにひろげること。

国民が改憲を求めているもとの、憲法改正原案、改正の発議等を審査する機関である憲法審査会を開催すべきではないと要求するとともに、憲法審査会の傍聴・監視活動呼びかけ、審査会の審議内容と問題点を憲法しんぶん速報等で知らせる活動に取り組みます。

憲法学習、とりわけ緊急事態時の議員任期延長改憲の危険性についての学習を強め、共同・共闘のたたかいを重視してたたかうとともに、署名運動を推進する力となる憲法リーフレット・憲法パンフレット・憲法ポスターの作成・普及に努めます。また、諸団体とともに、9の日宣伝行動、19日行動等にとりくみ、署名運動の推進力として役割を果たします。また、「憲法しんぶん速報」等で、各地の署名運動推進のとりくみを紹介・交流します。

皆さん、ご一緒に憲法を守り、生かすために奮闘しましょう。

## **これは酷い！！** 自民党青年局近畿ブロック会議後の会合で 過激ダンスショー 口移しでチップ渡す姿も

近畿の自民党若手議員らが参加した昨年11月の会合で、主管した党和歌山県連が下着と見まがうような露出の多い衣装をまとった複数の女性ダンサーを会場に招いていたことが8日、報じられています。報道によると、ダンサーに口移しでチップを渡す参加者の姿も。費用は党本部や県連が支出したが、公費が含まれている可能性があるとも報じられています。

会合は昨年11月18日に和歌山市内の「ホテルアバローム紀の国」で開かれた「青年局近畿ブロック会議」で、党本部青年局の国会議員や近畿2府4県の若手地方議員、党関係者など約50人が参加しました。

女性ダンサーが登場した会議後の懇親会にもほぼ同数が参加。動画では、少なくとも5人が音楽に合わせてステージや宴席のテーブル周辺で踊り、参加者にボディータッチなどをしていました。紙幣のようなものを口にくわえ、ダンサーに口移しで渡す参加者や、ダンサーの衣装に紙を挟み込んで尻を触る参加者の姿もありました。

近畿ブロック会議は例年、府県持ち回りで開催され、今年度は和歌山県連が運営を担当。会合全体の企画運営は和歌山県連青年局長の川畑哲哉県議（岩出市選挙区、3期目）が務めました。

費用については、党本部や和歌山県連の予算から事業費を支出していました。党本部には政党助成金が支給されており、和歌山県連も例年、党本部から交付金を受け取っているため、費用の一部に公費が使われている可能性が高いと報じられています。

川畑県議は取材に対し「彼女たちは世界的に活躍するダンサーであり、多様性の表現として出演を依頼したが、一部関係者から強い批判があり、真摯に受け止めている」と釈明。和歌山県連幹事長の山下直也県議は「会合が始まるまで、こんな余興が準備されているのは知らなかった。何らかの対応を検討している」と述べました。

### **「呆れて物が言えない」と共産党小池氏**

小池氏は11日の記者会見で、「呆れて物が言えない」とした上で、企画した県議が「会合のテーマが『多様性』だった」と説明したことについて、「意味不明だ。言い訳になっていない。『多様性』を、何をやっても許されることだと考えているのではないか」などと批判。また、「国民が生活苦であえいでいるのに、一人もやめようと言う人はいなかったのか。信じられない思いだ」と述べました。

さらに小池氏は、自民党女性局のフランス研修におけるエッフェル塔前の記念撮影も引き合いに、「女性局、今度は青年局と、自民党の屋台骨が揺らいできている」と指摘しました。

「これは昭和だって許されない。令和の今でもあり得ない」と非難を続けた小池氏は、「不適切にもほどがある」とした上で、「コメントするのも嫌になるぐらいだ」と述べた。

## **2024年5.3 憲法集会の準備進む**

5.3 憲法集会に向けて、第3回実行委員会が12日(火)18時から連合会館で開催されました。その中で、決まったことを紹介します。

**会場は、東京臨海広域防災公園です。**

**集会名：武力で平和はつukれない！とりもどそう憲法いかす政治を2024 憲法大集会**

### ◇スローガン

私たちは

- ・改憲発議を許さず、憲法をいかし、平和・いのち・くらし・人権を守ります。
- ・パレスチナ即時停戦とウクライナからの撤退、憲法9条をいかした平和外交を求めます。
- ・敵基地攻撃能力の保有と南西諸島へのミサイル基地配備の撤回を求めます。
- ・平和主義をつらぬき、武器輸出の解禁撤回を求めます。
- ・沖縄の民意と地方自治を踏みにじる辺野古基地の代執行と建設中止を求めます。
- ・原発推進政策の撤回を求め、再生可能エネルギーへの転換を求めます。
- ・ジェンダー平等、個人の尊厳を大切にす社会をめざします。

これら実現のため共同の輪をひろげ、金権腐敗、憲法無視の自民党政治を終わらせ、安心してくらせる社会をめざします。

### ◇内容(プログラム)

①メインステージ 13:00~14:20 司会：松村真澄(ピースボート)・総がかり青年PT

1)メインスピーチ

①伊藤真さん(弁護士・伊藤塾塾長)：憲法

②猿田佐世さん(新外交イニシアティブ(ND)代表・弁護士)：平和外交

2)開会挨拶(憲法共同センター)、

各政党あいさつ 市民連合あいさつ、行動提起(1000人委員会)

3)リレートーク

①地震と原発(武藤類子さん) ②難民問題(移住連) ③沖縄課題(高里鈴代さん)

④核兵器課題(大内由紀子さん) ⑤パレスチナ問題(猫塚義夫さん)

4)その他(カンパ要請・プラカードアピール)

②ミニステージ 11:00~12:30

A「自由に話そうトークイベント」

B「それってDV?あなたのモヤモヤお答えします モヤモヤ  
すっきりパレード」

C「こども憲法ひろば」

D「Human Music ライブ」

③オープニング&クロージング

・オープニング：古謝美佐子さん(沖縄音楽の第一人者)

・クロージング：「HEIWAの鐘」合唱 担当：日音協・音楽センター・うたごえ

④パレード 14:30より ※パレードと並行して会場企画を行う

